

農福連携事例 【組織名】大貫農園

＜営農類型＞
露地・施設野菜

＜取組内容＞

- ・常陸大宮市内の社会福祉施設と連携し、当農園の除草作業等を委託しています。
- ・令和7年現在、通年で週2回2～3名の障害者の方が作業をしています。



＜関連情報＞

項目	具体的な内容
始めた時期	令和元年
始めたきっかけ	福祉施設から依頼されたこともあるが、茨城県主催の農業アカデミー講座で農福連携の必要性を学び、茨城県共同受発注センターに相談したこと。
良かったこと	障害者は達成感を得ることができ、経営者は作業負担が軽減されること。 時間の掛かる単純作業を委託することで、労働力が確保でき、作業の効率化が図れていること。
工夫や気をつけていること	個人によって性格も違うので、一か月程度の作業計画を立て事前に福祉施設スタッフに連絡している。作業中も見守りを心掛けている。
課題	障害者に添って作業を教えることができるスタッフの確保が困難です。
アドバイス	障害者に添った臨機応変な対応が必要になると思います。
今後の取組	野菜の生産から販売までを障害者に携わってもらうのが理想。更に人数も増やし規模拡大したいと考えており、それに伴う休憩所の設置をしたい。

【住所・電話番号】
大貫農園 大貫 寛一
〒319-2225
茨城県常陸大宮市西塩子1338-3
TEL：090-4060-0479

